

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いやしのさと作成日: 平成 25 年 08 月 05 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年3回防災訓練を実施し、地域住民や、家族の協力を得て避難訓練を実施しているが、夜間、夜勤者と、事務長2人で、2階の利用者9人を安全に、避難場所に誘導していくことの大変さを職員一人ひとりが実感し、真剣に訓練を実施していく。	9人の利用者を消防車が到着するまでに、避難場所に誘導出来る時間を設定し、夜勤者全員が時間内に利用者を避難させることを目指し、何回も訓練を実施し、いざという時に、職員が、冷静に迅速な、避難誘導が出来る体制を確立していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	利用者の重度化が進み、車椅子使用が5人になり、全員での外出が困難になり、個別に対応出来る外出の支援に取り組み、利用者の気分転換と、生きがいに繋がる支援に取り組んでいく。	家族や、ボランティアの協力を得て、長時間の外出に取り組み、利用者や家族の喜びに繋がる外出の取り組みを目指していく。また、遠出の困難な利用者にも、戸外の太陽の光や、季節の風を肌で感じてもらえるように、敷地内を車椅子で散歩しながら、季節毎の庭の花を眺めて、楽しみに繋げていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。